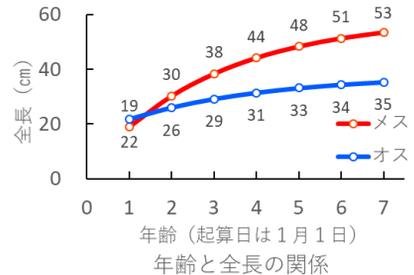


イシガレイ

1 生態

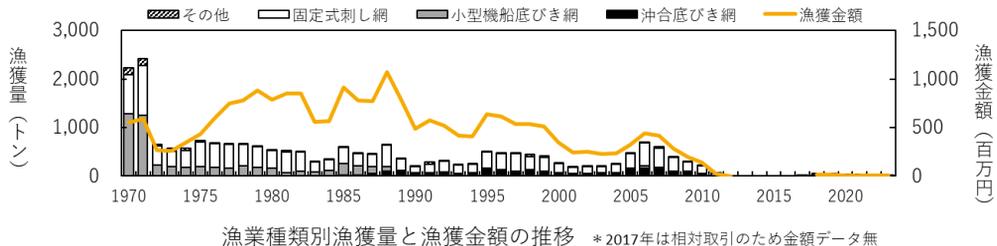
- ・日本各地の水深100m以浅に分布します。福島県では、稚魚は松川浦などの内湾や水深15m以浅の砂浜に分布し、成長とともに水深15～100mの海域に移動します。
- ・オスは2歳で全て成熟します。メスは2歳で70%、3歳で全てが成熟します。産卵期は12月で、産卵期には水深20～50mの海域に移動します。
- ・稚魚は主に多毛類、成魚はカニ等の甲殻類や二枚貝等の貝類の他、イカナゴなどの魚類を食べます。

* 沿岸域漁業管理適正化方式開発調査最終報告書（1987）により右図を作成



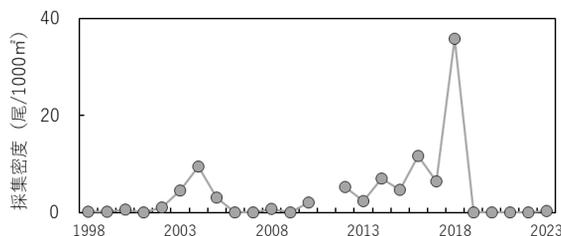
2 漁業に関する情報

- ・沖合底びき網及び小型機船底びき網や刺し網等で周年漁獲されています。
- ・2023年（令和5年）の漁獲量は9.8トン、金額は7.2百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛や国による出荷制限で水揚げはありませんでしたが、2017年（平成29年）2月から再開されています。
- ・新地町では古くから「釣師（つるし）がれい」と呼ばれ珍重されています。



3 資源の状態

- ・CPUE（単位努力量あたり漁獲量）等の資源量指標となる情報が不足していることから資源水準や動向は不明です。
- ・漁獲量の推移から、震災以前と比較して近年の資源は低位と考えられます。
- ・調査船による幼稚魚の分布密度調査の結果、直近5年間は目立った加入は見られず、2023年は0.4尾/1000m²と低い値を示しています。



(参考) 相馬ソリネット採集密度 (2月～7月)

4 資源管理の取組み

- ・現在、実施されている取組みはありません。